

# 世界でもめずらしい給食

勝川小学校 河澄 真歩

学校に通っていれば、必ず食べられる給食。でも、これは日本の義務教育の特ちょうの一つだと聞きました。

私は給食と、給食の時間が大好きです。当番で配ぜんすること、みんなでいっしょに食べることは、学校生活の中で楽しみな事の一つです。

給食をきれいな子もいると思いますが、私は好ききらいがほとんどないので、残さずに食べられる日が多く、おかわりもよくします。でも、食器を片付ける時、食かんの中は毎日、余った分と、食べ残しでいっぱいです。私は悲しい気持ちと、どうしておいしいのに残すんだろう、と不思議な気持ちになります。だから少しでも残る量を減らそうと思っていることも、おかわりをする理由の一つでもあります。

新型コロナウイルスのために、給食も変わった点があります。まずは、去年も今年も、ずっと給食中、席をグループにできず、一人ずつで食べる日々が続いています。それは、とてもつまらない給食タイムです。友達と話してはいけない、ということを経験して、今まで話しながら食べていた時の楽しさを感じています。早くコロナが落ちついて、今までの様にワイワイ楽しい給食タイムを過ごしたいです。

私にとって、うれしい変化もありました。パンが一人分ずつ袋に入っていることです。毎回ふわふわでモチモチのパンが食べられま

す。

六年生の私にとって、小学校での給食はあと半年程度です。一人一人が感染予防に気を付け、一日も早く、楽しく会話をしながら食べられる給食タイムがもどってくるようにしたいです。そして、それを小学校での給食の思い出の一つに加えたいです。